

琉大の環境活動 全国 2 位

国立大初 地域連携も評価

琉球大学の環境活動を報告した「環境活動レポート二〇〇六」が環境省・地球・人間環境フォーラム主催の「第十一回環境コミュニケーション大賞」で大臣賞に次ぐ優秀賞を受賞した。二十一日、同大が発表した。

環境レポート部門での受賞は国立大学として全国初。一斉消灯や用紙量削減、ごみ分別の徹底や生ごみの抑制など省エネ、二酸化炭素排出量の削減に努めたほか、自然観察や千本桜植樹祭などで地域と連携した環境活動が評価された。

審査では「計画内容や各部署の取り組み、環境配慮の実態が分かりやすく、大学の活動レポートの見本となる」と絶賛された。嘉数啓副学長は「理解し

やすいだけでなく地域との連携が結果につながったと思う」と述べ、来年度は全学部での活動拡大に意欲を見せた。

同大賞は優れた環境活動報告書やレポート、テレビCMに贈られる賞で同部門六十点含め、全三部門に四百十点の応募があった。